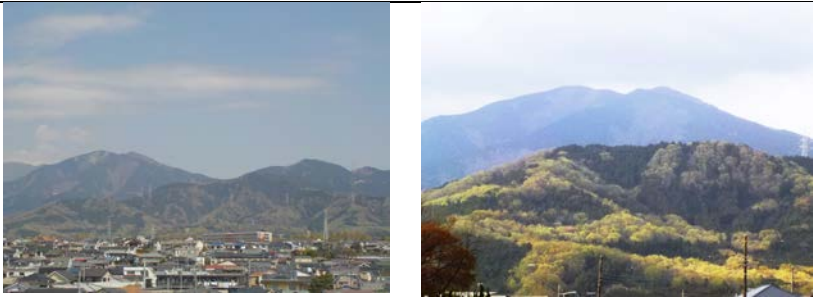


まほろば 秦野 通信

平成28年4月19日

秦野市市長公室広報課

タイトル	新緑のパッチワークが見ごろ 日本一の秦野名水を育む丹沢の里山
When (いつ)	4月中旬～5月初旬
Where (どこで)	渋沢丘陵（震生湖駐車場）からの景色
What (なにを) How (どのように) Why (なぜ)	 <p>丹沢の標高300m以下の里山ではスギ、ヒノキの人工林とクヌギ、コナラの雑木林が混在しています。そのため、この季節には、人工林の濃い緑と雑木林の新緑がパッチワークのように見えます。</p> <p>秦野市は、四方を山に囲まれた県内唯一の盆地であり、天然の水がめには地下水が芦ノ湖の1.5倍の約2.8億トンが蓄えられ、この豊富な地下水が市内のいたるところで湧き出しています。</p> <p>昭和60年には、名水百選に「秦野市盆地湧水群」が選定され、今年行われた「名水百選」選抜総選挙では、「おいしさがすばらしい名水」部門で秦野の名水が1位に輝きました。この名水は、丹沢山地とその裾野に広がる里山によって育まれています。</p>
問い合わせ	環境産業部環境保全課地下水・環境指導担当 担当：谷 電話0463（82）9618